

学校番号	406
------	-----

令和3年度 芸術科(書道)

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	書Ⅱ(教育図書)						
副教材等	新版応用ペン習字(教育図書)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道Ⅱではより高度な用筆法による表現の違い等を学びましょう。
- ・篆、隸、行、草、楷書、仮名、変体仮名に至るまで様々な書体を体験し、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
- ・工芸的な作品や、パネル作品を作ることで生活の中に書を生かそうとしたり、書を愛好する心情を育てます。

2 学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:書への 関心・意欲・態度	b:書表現の 構想と工夫	c:創造的な書表現の技 能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評 価 方 法	観察 自己評価カード	観察 自己評価カード 提出作品	観察 自己評価カード 提出作品	観察 自己評価カード 提出作品
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

月	題材名	学習内容・活動	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	漢字の書	①篆書の古典に学ぼう ・泰山刻石 ・石鼓文 ・甲骨文		○	○		a:篆書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:篆書の筆法の基礎・基本を踏まえ表現を工夫している。 c:逆筆、水平垂直、縦長で左右対称という特徴を身に付け表している。 d:篆書が生活の中で果たしている役割を知りその効用を理解している。	観察 自己評価カード 提出作品
6	漢字の書	②篆刻・刻字に学ぼう	○		○		a:篆刻について関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:篆刻の技法を学び、自らの意図に基づいて表現を構想し、工夫している。 c:篆刻の技法を理解し、姓名印を刻す技能を身に付け表している。 d:落款の意味とその役割について、理解している。 篆刻の意義と技法について理解している。	観察 自己評価カード 提出作品
7	漢字の書	③隸書の古典に学ぼう ・曹全碑 ・乙瑛碑 ・石門頌 ・居延漢簡 ・金農		○	○		a:隸書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:隸書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆、扁平、波磔、水平垂直という用筆方法を身に付け表している。 d:隸書が生活の中で果たしている役割を知りその効用を理解している。	観察 自己評価カード 提出作品
9 10	漢字の書	④草書の古典に学ぼう ・十七帖 ・書譜		○	○		a:草書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:草書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:草書の用筆方法を身に付け表している。 d:草書が生活の中で果たしている役割を知りその効用を理解している。	観察 自己評価カード 提出作品
11	くらしの中の書	鏡を使った工芸な作品		○		○	a:工芸的な作品について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:効果的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:字を削る技法を身に付け表している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 自己評価カード 提出作品

12	仮名の書	<ul style="list-style-type: none"> ・基本用筆 ・いろは歌 ・高野切第一種 		○	○		a:仮名の書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の書の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:仮名の書の用筆方法を身に付け表している。 d:仮名の書が生活の中で果たしている役割を知りその効用を理解している。	観察 自己評価カード 提出作品
1 2 3	漢字仮名交じりの書(パネル作品) 自分の作品について語り他人の作品を味わおう(作品発表)	<ul style="list-style-type: none"> ・パネル作品制作 語句の選定 文字調べ 草稿作成 半紙による作品制作 後半切二分の一への清書、押印 ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会 	○	○		○	a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 自己評価カード 提出作品

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。